

2019年度事業報告書

自 2019年4月 1日

至 2020年3月31日

1. 会議に関する事項

(1) 通常総会の開催

令和元年5月14日（火）熱海玉の湯ホテル（静岡県熱海市）において開催され、全議案について審議議決した。

（議案）

- 第1号議案 平成30年度事業報告承認の件
- 第2号議案 平成30年度収支決算報告承認の件
- 第3号議案 平成30年度監査報告の件
- 第4号議案 2019年度事業計画承認の件
- 第5号議案 2019年度収支予算案承認の件
- 第6号議案 役員交代に関する件

(2) 理事会の開催

開催回数	開催年月日及び場所	出席者数	議案	議決の結果
①	01年5月10日	書面	1. H30年度決算報告書の承認	可決
②	01年11月29日	書面	1. 2019年度上半期業務報告書の承認	可決
③	02年3月10日 TKP 新大阪ビジネスセンター3F ミーティングルーム3D	10人	1. 2019年度事業概況報告について 2. 2019年度収支決算見込みについて 3. 2020年度事業計画案及び収支予算案 4. 2020年度通常総会開催の日時及び開催場所について 5. 総会までの間の工業会経費暫定支出について 6. 役員改選について	可決 可決 可決 可決 可決 可決

2. 事業の実施状況

(1) 工業会の運営に関する件

第1号議案

i) 会員の退会・入会

正会員 日東エナメル工業(株) (R01年12月末)
 退会 賛助会員 日本フリット(株) (R02年3月末)
 賛助会員 JFEスチール(株) (R02年3月末)
 入会 無し
 変更 正会員から賛助会員へ組替え
 (株)大宮ホーロー製作所 (R02年3月末)
 現会員数 正会員 14社 賛助会員 8社 計 22社

ii) I E I (国際ほうろう協会) に関して

2021年第25回国際ほうろう会議の日本開催準備に関する活動。

日程	活動内容
5月23日(木)	2021年IEI国際会議 準備委員会開催 (1) 2019年10月IEI総会に関する事項 (2) 2021年国際会議 最終日の晚餐会会場 (3) 工場見学先について (4) スポンサー募集開始 (5) その他
6月25日(火)	2021年IEI国際会議 準備委員会開催 (1) メールホスティング 運営 (国際会議専用アドレス) (2) JEAホームページ上にIEI国際会議の案内掲載 (3) スポンサー募集について (銀行口座の開設) (5) その他
9月24日(火)	2021年IEI国際会議 準備委員会開催 (1) 2019年10月IEI総会に関する事項 (2) 2021年国際会議 同時通訳について (3) Web、共通アドレス開設状況 (info_ieicongress@jea2021kyoto.jp) (4) その他
10月8日(火)～10月10日(木)	51thIEI年次総会を京都で開催。 出席者18名 (海外11名、JEA3名、TMT4名) (1) 51thIEI通常総会 (2) 2021年京都国際ほうろう会議準備状況、会場見学、工場見学、他)
12月10日	2021年IEI国際会議 準備委員会開催 (1) IEI総会に関する決算報告 (2) 同時通訳、セッション募集、スポンサーについて (3) 工場見学、同伴者費用について

第25回ほうろう国際会議（京都）の進捗状況（添付資料①3月準備委員会議事録、添付資料②TMT立替表）

備考：4月1日時点で、IEI事務局より国際会議は予定通り開催する旨の連絡あり。

JEA（日本珪瑯工業会）HPの英語版の検討

iii) 中小企業庁【中小企業経営強化法】証明書発行業務に関して

中小企業経営強化税制の拡充による器具備品の品目が追加され、工業会がその認定業務（証明書発行）の委託を受け中小企業庁に報告。

2019年4月より申請件数 0件

(2) 技術・技能の向上に関する事項

i) ほうろう技能検定試験に関する活動（技術委員会）

第4回ほうろう技能検定試験は、令和2年1月25日（土）に学科試験（2会場）を2月15日（土）に実技試験を東罐マテリアル・テクノロジー(株)小牧工場にて実施した。15名が受験し、7名が合格。合格者にはそれぞれ合格認定書を授与した。（活動内容は添付資料③を参照）

ii) JIS S 3012（家庭用ほうろう器物）の改正に関する活動（技術委員会分科会）

2019年2月に成果物を日本規格協会(JSA)に提出。下記の経緯を経て2019年11月にJISS3012：2019として公開された。

活 動 経 緯

- ① 2019年5月～6月：JSAの審査で出たコメントへの対応、回答
- ② 2019年7月：JSAよりJISCへ申出資料（JIS本文、解説）提出
- ③ 2019年8月：JISC技術専門委員会に出席し、改正規格の質疑応答を実施
- ④ 2019年9月：委員指摘事項について修正資料を提出
- ⑤ 2019年10月：パブリックコメントでの指摘事項について対応
- ⑥ 2019年11月：11月20日に改正JISとして官報公示された

（備考）2020年1月に改正JISの一部に不具合（煮沸試験の試験時間）が見つかり、現在JSAを通し追補改正（2020年区分A）を申請中。

iii) 技術講演会の開催

（公社）日本セラミックス協会珪瑯部会と共催で、令和1年11月15日（金）にウインクあいち（名古屋）会議室にて、下記内容で技術講演会・交流会を開催した。

	講演会演題	講演者
①	工業炉設計から見た珪瑯焼成炉	日本ファーンレス(株) 栗太 清文氏
②	協働ロボットについて	IDECファクトリーソリューションズ(株) 鈴木 正敏氏
③	ISO4531規格改訂について	東罐マテリアル・テクノロジー(株) 中川 忠彦氏
④	ほうろう研究会発表	ほうろう技術研究会
⑤	技術交流会	

iv) 日本セラミックス協会珪瑯部会幹事会の開催

次の通り3回開催された。

①	年月日	2019年4月17日(水)
	場所	中小企業振興会館(吹上ホール)(名古屋)
	議題	(1) 幹事引継ぎについて (2)2018年度事業報告、決算報告 (3) 2019年度予算・事業計画の打ち合わせ (4)ほうろう技術研究会進捗報告 (5) ISO規格関連 (6)都立産技研、技術セミナーの件 (7)2019年技術講演会について
②	年月日	2019年6月27日(木)
	場所	中小企業振興会館(吹上ホール)(名古屋)
	議題	(1)技術講演会に関する打ち合わせ (2)活性化予算の報告 (3)ISO規格関連報告 (4)都立産技研センターの「技術セミナー」他
③	年月日	2019年8月9日(木)
	場所	日本特殊陶業市民会館(名古屋)
	議題	(1)珪瑯部会技術講演会打ち合わせ (2)セラ協会長・支部会意見交換会報告 (3)活性化予算関連報告 他

v) ISO/TC107規格国内委員会の活動

- ① TC107/WG2 ほうろう部門の国内委員として、ISO規格に対する国内検討並びに投票を実施(主に電子投票)。(投票内容、関連資料として添付資料④を参照。)
- ② 2020年第32回ISO/TC107総会(中国馬鞍山)2/23~2/28日はコロナウイルス問題で中止された。

vi) 都立産業技術研究センター「ほうろう技術セミナー」開催について

2019年10月25日(金)都立産技研センターにて技術セミナー「ほうろう製品の基礎知識」を実施した。(添付資料⑤参照)

活 動 経 緯

- ① 2019年6月:講演内容を3件に絞り、講演者への依頼を行った。
 - ① ほうろう概論 →日本フリット㈱
 - ② ほうろう器物製造の実際 →富士珪瑯工業㈱
 - ③ ほうろう器物に関わる法令及び規格 →珪瑯工業会
- ② 2019年8月:都立センターより講演者へ正式講師派遣依頼があり、了承。
- ③ 2019年10月:「ほうろう技術セミナー」開催
 - ・3講演者(日本フリット㈱ 橋本達朗氏、富士珪瑯工業㈱ 横沢満氏、珪瑯工業会 野間)により講演実施。
 - ・参加人数 13名

(3) 環境対策

2019年7月～2022年6月のほう素ふっ素の暫定排水基準は、ほう素（40ppm）、ふっ素（12ppm）で、ほうろう鉄器製造業が対象となる。（ほうろう釉薬製造業は一律基準に移行）

i) 環境対策への活動

①	ほう素ふっ素暫定排水基準フォローアップ調査票（業界団体用、個別事業者用） 調査票提出 2019年8月29日（電子書類）		
②	令和元年度第1回排水処理技術検討会 年月日 令和元年10月24日 場 所 TKP 東京駅日本橋カンファレンスセンター2F 議 題 H30年7月以降の各事業所の対応委員ヒアリング *2事業者、1アドバイザー並びに事務局がヒアリングに出席		
③	委員指摘事項：処理の迅速化、処理排水の平準化。対応検討中。		
④	ほう素ふっ素排水基準値（2019.7～2022.6）		
		ほう素	ふっ素
	ほうろう鉄器製造業	40ppm	12ppm
	ほうろう釉薬製造業	10ppm（一律基準）	8ppm（一律基準）

(4) 安全対策事業

i) 器物部会開催

①	2019年5月30日 日本珪瑯工業会にて開催（出席 4名）
	<p>討議事項</p> <p>(1) IH 認定マークの規定改訂について</p> <p>(2) 2019年度 IH 認定マーク、S マークの契約について</p> <p>(3) JIS S3012（家庭ほうろう器物）改正の進捗について</p> <p>(4) 都立産業技術研究センター「ほうろうセミナー」について</p> <p>(5) その他情報交換</p>

ii) 2019年度 IH 認定マーク承認検査試験実施

日用金属製品検査センター、瀬戸窯業技術センターに試験を委託。
2社（野田珪瑯株、富士珪瑯工業株）と認定マークの契約書を締結した。

iii) ISO4531（食品と接触するほうろうからの溶出規格）の改正

規格改正に伴う試験器具を日本珪瑯工業会が準備し、検査を検査機関に依頼するため、試験器具2台を準備した。添付資料⑥

(5) 消費者対策

消費者、消費者センターからの相談、事業者からの相談、メーカー紹介等の問い合わせに対応した。2019年4月～2020年3月までに24件の問い合わせを受け対応した。（添付資料⑦を参照）

(6) 情報サービス

- i) ほうろう鉄器出荷統計、鋳物ほうろう浴槽出荷統計のまとめと関係先への配布。
並びにほうろう部品に関する燃焼機器出荷統計のまとめを関係先に配布。
- ii) 工業会の情報開示のホームページ更新。お知らせ覧での情報提供により珙瑯の普及、啓発に努めた。HP閲覧アクセス数 2,500～3,000件/月です。

(7) 関連業界との交流

関連業界との連絡協調を図るべく、ガラス、陶磁器、ガス、石油機器、アルミ製品、ステンレス製品等の業界で組織する、日用品工業団体協議会並びに全国中小企業団体中央会の研修会、講演会に参加。また、キッチンメーカー、浴槽メーカー等で組織されるキッチンバス工業会の行事（台所・お風呂の川柳：2019年11月1日表彰式）に参加することでほうろう製品の普及を図った。

以上